

長野県木曽青峰高等学校 令和6年度第2回学校評議員会 記録

日 時 令和7年2月28日（金）午前10時30分から午前11時30分

場 所 木曽青峰高等学校 会議室

出席者 学校評議員 同窓会長、同窓副会長、PTA会長、（木曽福島）丘の上区長
学校職員 校長、全日制教頭、定時制教頭、全日制教務主任、全日制教務室常駐者
進路指導主事、生徒指導主事、1学年主任、2学年主任、3学年主任
理数科主任、森林環境科主任、インテリア科主任

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 学校からの報告
- 4 学校評議員からの質問・意見・要望等

（評議員）学校案内を郡外中学校へ配布して欲しいと昨年度お願いをした。その効果について確認したい。また、今後も継続して郡外中学校への学校案内の配布をお願いしたい。

■塩尻地区、中津川地区の中学校には郵送にて配布をした。効果を明確に示すことは難しいが、今年度も塩尻、中津川地区から数名志願があった。来年度も継続していきたい。

（評議員）一定数の中学生が郡外の高校に進学している。地域とも協力して、地域の生徒に選んでもらえる高校としてほしい。多くの生徒が切磋琢磨してより良い学校になっていてもらいたい。また、中学生が郡外に進学した理由を中学校に確認しても良いのではないかな。理数科で行っている理数探究が、生徒へのアピールにも負担にもなっているのではないかな。この辺りを中学校と情報共有してもらいたい。

■探究的な力こそが今まさに求められている力であり、進路実現をするためにも必要な力となっている。そのあたりを中学生にもきちんとアピールしていきたい。また、中学生が理数探究に感じている部分も中学校と共有していきたい。

（評議員）「未来の学校」が5年間実施され、一つの区切りを迎えた。その中で生徒と地域との結びつきが強くなり、学校が地域に認知してもらっていると感じる。また、各学科の特色を活かし、同窓会としても誇りとなるような探究が出てくるのではないかと期待している。

（評議員）土曜日授業を実施してもらい感謝している。ただ、職員の負担もあるかと思うので、サテライト授業などの外部の力も上手く利用してもらい、職員の負担軽減を図りながら、外部からの刺激を生徒に与えてほしい。

- 5 その他

- 6 閉会